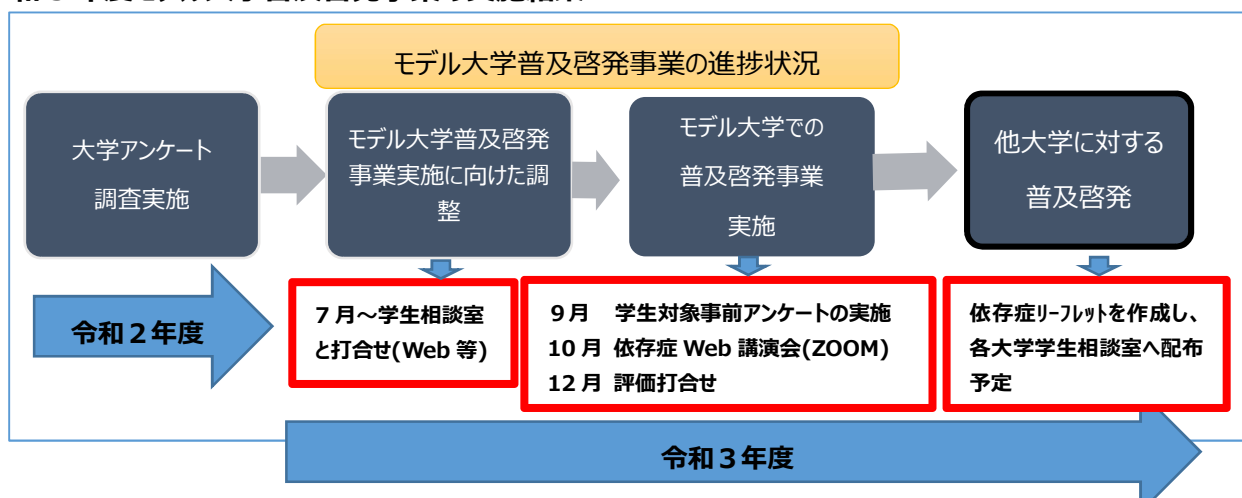


## 普及啓発事業及び連携会議の設置状況について

## 1 令和3年度モデル大学普及啓発事業の実施結果



- モデル大学(酪農学園大学)の協力の元、学生、保護者、教員を対象とした「依存症 Web 講演会」を実施(10/19)
  - 講演「わかっているけどやめられない依存症～正しく知って相談しよう～」(手稲溪仁会病院精神保健科 白坂部長)
  - 受講者 31 名。オンデマンド配信 11/9～12/8 まで YouTube 限定公開。
  - 事後アンケート(回答率 61.3%)は、講演内容の理解度は 84.2%が理解できた、15.8%がまあまあできた、との回答。受講の感想は、「誰でもかかりうる病気だとわかった」「生活や家庭・養育環境、人間関係に病気に至る背景や問題が隠れていることがわかった」「家庭や医療機関に理解者がいることの大切さを感じた」などの記載。
- 今後の取組～依存症リーフレットを作成し、大学の学生相談室へ配布・周知を予定。学生からの相談活用を依頼する。

## 2 令和3年度依存症普及啓発セミナーの実施結果

- 一般道民を対象に、「依存症普及啓発セミナー」(ZOOM)を実施(11/27)
  - 講演「ギャンブル等依存症について」(北星学園大学 田辺教授)、「アルコール健康障害について」(旭山病院 山家理事長)、当事者体験談(ギャンブル依存症当事者)をプログラム。
  - 受講者 67 名。札幌市内が最多であったが、全道各地からの申込みがあった。
  - オンデマンド配信 12/22～1/20 まで YouTube 公開。
  - 事後アンケート(回答率 68.7%)は、講演内容の理解度は 70%が理解できた、30%がまあまあ理解できた、との回答。受講の感想は、「身近な問題として考える機会となった」「自分が病気だと認め、根本的な心の問題等と向き合うことが大切であると感じた」「人間関係の障害ということが印象的だった」「実際の自助グループの活動について勉強できた」などの記載。オンライン開催の感想は、参加しやすかったと高評価であり、効果的方法だった。
- 今後の取組～普及啓発の機会として、Web によるセミナーを継続して開催する。

## 3 ギャンブル等依存症対策に係る連携会議の設置状況等調べの結果

連携会議設置状況(令和4年3月現在) (道立保健所及び4市)	
令和2年度設置済	5
令和3年度設置済	1
令和4年度設置予定	2
設置について未定	21

新型コロナウイルス対応、構成員を検討中、既存の会議の活用を検討中、設置に関する検討ができていない、単独での設置は想定していない、設置予定なし

- 新型コロナウイルス感染症の影響等により、連携会議設置は進んでいない現状。
- 北海道ギャンブル等依存症対策推進計画(R2年3月)の重点目標として、「道内各地域における包括的な連携体制を構築するため、地域の実情に応じた地域の関係機関による連携会議を設置するよう努めます。」としているため、地域の実情に応じた会議設置について検討を進めるよう働きかけていく。